

2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社日立物流
 コード番号 9086 URL <https://www.hitachi-transportssystem.com>
 代表者（役職名）執行役社長（氏名）中谷 康夫
 問合せ先責任者（役職名）経営戦略本部 広報部長（氏名）多賀 鉄朗（TEL）03-6263-2803
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家・メディア向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		調整後 営業利益 *1		EBIT *2		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社株主に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	474,481	△7.1	26,575	2.6	34,618	14.9	30,446	17.8	19,388	13.5	18,738	15.3
2020年3月期第3四半期	510,476	△4.7	25,899	7.6	30,140	9.4	25,851	△3.9	17,080	△7.2	16,252	△6.8

	基本的1株当たり 親会社株主に 帰属する四半期利益
	円 銭
2021年3月期第3四半期	188.96
2020年3月期第3四半期	145.69

*1. 当社は、「営業利益」に代え、「調整後営業利益」を連結経営成績に関する指標として用いており、「調整後営業利益＝売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費」により算出しています。なお、2021年3月期第3四半期の営業利益は、31,907百万円です。

*2. EBITは、Earnings Before Interest and Taxesの略で、「EBIT＝税引前四半期利益－受取利息＋支払利息」により算出しています。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社株主持分	親会社株主 持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	773,364	156,822	150,319	19.4
2020年3月期	879,144	239,257	232,861	26.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	21.00	—	22.00	43.00
2021年3月期	—	22.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	26.00	48.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後 営業利益		EBIT		税引前 当期利益		当期利益		親会社株主に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 親会社株主に 帰属する当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	640,000	△4.8	34,000	1.5	42,000	6.0	36,500	7.9	22,950	2.1	22,000	1.8	230.86

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注2）当社は、2020年9月24日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

連結業績予想の「基本的1株当たり親会社株主に帰属する当期利益」については、当該事項による影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	111,776,714株	2020年3月期	111,776,714株
2021年3月期3Q	28,088,596株	2020年3月期	227,790株
2021年3月期3Q	99,166,327株	2020年3月期3Q	111,549,232株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は当社Webサイトに掲載します。

・当社は、2021年1月29日にアナリスト・機関投資家・メディア向けの電話会議を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、「当第3四半期」）における連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	510,476	474,481	93%
調整後営業利益	25,899	26,575	103%
E B I T	30,140	34,618	115%
親会社株主に帰属する四半期利益	16,252	18,738	115%

売上収益は4,744億81百万円（前年同期比7%減）、調整後営業利益は265億75百万円（前年同期比3%増）、EBITは346億18百万円（前年同期比15%増）、親会社株主に帰属する四半期利益は187億38百万円（前年同期比15%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

【国内物流】

(単位：百万円)

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	328,237	312,854	95%
セグメント利益(調整後営業利益)	19,495	18,554	95%

当セグメントの売上収益は、新規立ち上げ案件の寄与やパレネット(株)と(株)日立物流東日本流通サービスの連結化による増収影響はあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大による物量減少は依然として継続しており、前年同期に比べ5%減少し、3,128億54百万円となりました。

セグメント利益は、生産性改善・総コスト抑制効果等はあったものの、減収影響により、前年同期に比べ5%減少し、185億54百万円となりました。

【国際物流】

(単位：百万円)

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	169,067	150,664	89%
セグメント利益(調整後営業利益)	5,389	7,082	131%

当セグメントの売上収益は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は各地域において回復傾向にあるものの、依然として前年同期水準には至らず、また為替影響等もあり、前年同期に比べ11%減少し、1,506億64百万円となりました。

セグメント利益は、減収影響はあったものの、中国フォワーディング事業の収益性向上や、各地域における生産性改善・総コスト抑制効果等の影響により、前年同期に比べ31%増加し、70億82百万円となりました。

【その他(物流周辺事業等)】

(単位：百万円)

区分	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	13,172	10,963	83%
セグメント利益(調整後営業利益)	1,015	939	93%

当セグメントの売上収益は、(株)日立トラベルビューロー(現(株)HTB-BCDトラベル)の非連結化影響等により、前年同期に比べ17%減少し、109億63百万円となりました。

セグメント利益は、減収影響等により、前年同期に比べ7%減少し、9億39百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部合計は、前連結会計年度末に比べ1,057億80百万円減少し、7,733億64百万円となりました。流動資産は、その他の流動資産が79億23百万円増加したものの、現金及び現金同等物が469億92百万円減少したことなどにより、334億90百万円減少いたしました。非流動資産は、有形固定資産が65億74百万円増加したものの、持分法で会計処理されている投資が830億5百万円減少したことなどにより、722億90百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債の部合計は、前連結会計年度末に比べ233億45百万円減少し、6,165億42百万円となりました。流動負債は、その他の金融負債が128億95百万円、未払法人所得税が54億18百万円、それぞれ減少したことなどにより、251億9百万円減少いたしました。非流動負債は、長期債務が102億53百万円減少したものの、リース負債が67億97百万円増加したことなどにより、17億64百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の資本の部合計は、前連結会計年度末に比べ824億35百万円減少し、1,568億22百万円となり、また親会社株主持分比率は前連結会計年度末の26.5%から19.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の残高は、前連結会計年度末に比べ469億92百万円減少し、920億29百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期に比べ261億49百万円収入が減少し、279億70百万円の収入となりました。この主な要因は、法人所得税の支払253億30百万円等による資金の減少と、減価償却費及び無形資産償却費384億5百万円、四半期利益193億88百万円等により資金が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期に比べ812億69百万円収入が増加し、752億36百万円の収入となりました。この主な要因は、有形固定資産及び無形資産の取得143億82百万円等による資金の減少と、関連会社株式の売却による収入871億83百万円等により資金が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期に比べ1,154億28百万円支出が増加し、1,511億5百万円の支出となりました。この主な要因は、自己株式の取得による支出996億32百万円、リース負債の返済272億47百万円等により資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

グローバル経済においては、新型コロナウイルス感染症拡大影響による経済減速が懸念されます。また、保護主義・貿易摩擦の影響や地政学的リスク、自然災害の影響等に引き続き留意する必要があります。日本経済、特に物流業界においては、労働力不足やEC市場拡大等の環境下、業界の垣根を超えた競争激化により、経営環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループは、ビジネスコンセプト「LOGISTEED」のもと、多様なパートナーとの協創により、コア領域である物流機能を強化するとともに、さらなる領域拡大へとつながる協創戦略を実行してまいります。

『LOGISTEED』 : LOGISTICSと、Exceed、Proceed、Succeed、そしてSpeedを融合した言葉であり、ロジスティクスを超えてビジネスを新しい領域に導いていく意思が込められています。

なお、2020年7月30日に公表した通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向や今後の見通し等を踏まえ、下記のとおり修正しております。

[通期の連結業績予想]

	売上収益	調整後 営業利益	EBIT	税引前 当期利益	当期利益	親会社株主 に帰属する 当期利益	基本的1株 当たり親会社 株主に帰属 する当期利益
前回発表予想 (A) (2020年7月30日公表)	百万円 651,000	百万円 31,500	百万円 38,550	百万円 33,150	百万円 22,500	百万円 21,500	円 銭 225.61
今回修正予想 (B)	640,000	34,000	42,000	36,500	22,950	22,000	230.86
増減額 (B-A)	△11,000	2,500	3,450	3,350	450	500	—
増減率 (%)	△1.7	7.9	8.9	10.1	2.0	2.3	—
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	672,286	33,483	39,607	33,829	22,485	21,614	193.76

(注) 当社は、2020年9月24日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項について決議しました。

連結業績予想の「基本的1株当たり親会社株主に帰属する当期利益」については、当該事項による影響を考慮しております。

決算補足説明資料は、当社Webサイトに掲載します。

[URL] <https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/ir/library/presentations/>

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	139,021	92,029
売上債権及び契約資産	115,419	121,261
棚卸資産	1,066	1,239
その他の金融資産	5,102	4,666
その他の流動資産	6,801	14,724
流動資産合計	267,409	233,919
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	89,271	6,266
有形固定資産	148,232	154,806
使用権資産	288,441	292,801
のれん	24,112	24,881
無形資産	24,397	23,858
繰延税金資産	10,123	10,325
その他の金融資産	21,274	20,768
その他の非流動資産	5,885	5,740
非流動資産合計	611,735	539,445
資産の部合計	879,144	773,364

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
(負債の部)		
流動負債		
買入債務	45,410	44,763
短期借入金	3,546	2,134
償還期長期債務	10,416	10,375
リース負債	33,209	31,147
未払法人所得税	8,232	2,814
その他の金融負債	37,886	24,991
その他の流動負債	29,062	26,428
流動負債合計	167,761	142,652
非流動負債		
長期債務	150,502	140,249
リース負債	261,031	267,828
退職給付に係る負債	34,825	36,640
繰延税金負債	10,123	7,972
その他の金融負債	12,299	17,861
その他の非流動負債	3,346	3,340
非流動負債合計	472,126	473,890
負債の部合計	639,887	616,542
(資本の部)		
親会社株主持分		
資本金	16,803	16,803
利益剰余金	220,829	235,273
その他の包括利益累計額	△4,587	△1,941
自己株式	△184	△99,816
親会社株主持分合計	232,861	150,319
非支配持分	6,396	6,503
資本の部合計	239,257	156,822
負債・資本の部合計	879,144	773,364

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	510,476	474,481
売上原価	△446,632	△411,718
売上総利益	63,844	62,763
販売費及び一般管理費	△37,945	△36,188
調整後営業利益	25,899	26,575
その他の収益	3,876	10,100
その他の費用	△5,338	△4,768
営業利益	24,437	31,907
金融収益	86	74
金融費用	△205	△289
持分法による投資損益	5,822	2,926
受取利息及び支払利息調整後 税引前四半期利益	30,140	34,618
受取利息	936	750
支払利息	△5,225	△4,922
税引前四半期利益	25,851	30,446
法人所得税費用	△8,771	△11,058
四半期利益	17,080	19,388
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	16,252	18,738
非支配持分	828	650

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益		
基本	145.69円	188.96円
希薄化後	－円	－円

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	17,080	19,388
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	176	316
確定給付制度の再測定	—	△56
持分法のその他の包括利益	△76	17
純損益に組み替えられない項目合計	100	277
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△967	2,616
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	2	△1
持分法のその他の包括利益	△47	△1
純損益に組み替えられる可能性がある 項目合計	△1,012	2,614
その他の包括利益合計	△912	2,891
四半期包括利益	16,168	22,279
四半期包括利益の帰属		
親会社株主持分	15,387	21,319
非支配持分	781	960

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位:百万円)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)							
					親会社 株主持分 合計	非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式			
期首残高	16,803	206,245	△520	△182	222,346	6,603	228,949
変動額							
四半期利益		16,252			16,252	828	17,080
その他の包括利益			△865		△865	△47	△912
非支配持分との取引等		△6	△1		△7	209	202
配当金		△4,686			△4,686	△143	△4,829
利益剰余金への振替		145	△145		—		—
自己株式の取得及び売却				△1	△1		△1
非支配株主に係る売建プット・ オプション負債の変動等		△23	△67		△90	△674	△764
変動額合計	—	11,682	△1,078	△1	10,603	173	10,776
期末残高	16,803	217,927	△1,598	△183	232,949	6,776	239,725

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)							
					親会社 株主持分 合計	非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式			
期首残高	16,803	220,829	△4,587	△184	232,861	6,396	239,257
変動額							
四半期利益		18,738			18,738	650	19,388
その他の包括利益			2,581		2,581	310	2,891
非支配持分との取引等		164	△107		57	△212	△155
配当金		△4,299			△4,299	△130	△4,429
利益剰余金への振替		11	△11		—		—
自己株式の取得及び売却				△99,632	△99,632		△99,632
株式報酬取引		17			17		17
非支配株主に係る売建プット・ オプション負債の変動等		△187	183		△4	△511	△515
変動額合計	—	14,444	2,646	△99,632	△82,542	107	△82,435
期末残高	16,803	235,273	△1,941	△99,816	150,319	6,503	156,822

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	17,080	19,388
四半期利益から営業活動による キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	38,966	38,405
減損損失	3,978	994
法人所得税費用	8,771	11,058
持分法による投資損益	△5,822	△2,926
関連会社株式売却益	—	△4,945
事業再編等利益	△1,244	—
固定資産売却損益	△1,800	△2,810
受取利息及び受取配当金	△1,016	△821
支払利息	5,225	4,922
売上債権及び契約資産の増減	9,464	△3,880
棚卸資産の増減	△82	△97
買入債務の増減	△7,270	△1,423
退職給付に係る負債の増減	6	1,578
その他の資産及びその他の負債の増減	△4,130	△5,589
その他	653	474
小計	62,779	54,328
利息及び配当金の受取	3,629	3,700
利息の支払	△5,042	△4,728
法人所得税の支払	△7,247	△25,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,119	27,970
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得	△9,255	△14,382
有形固定資産及び無形資産の売却	4,659	3,564
関連会社株式の売却による収入	—	87,183
子会社株式の取得による支出	△666	△1,476
子会社への支配喪失による減少	△384	—
その他	△387	347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,033	75,236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減	△1,750	△1,520
長期借入債務の返済	△603	△10,307
リース負債の返済	△27,750	△27,247
非支配持分への子会社持分売却による収入	—	114
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△199	△7,443
配当金の支払	△4,686	△4,299
非支配持分株主への配当金の支払	△143	△130
自己株式の取得による支出	△1	△99,632
その他	△545	△641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,677	△151,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	907
現金及び現金同等物の増減	12,300	△46,992
現金及び現金同等物の期首残高	108,412	139,021
現金及び現金同等物の期末残高	120,712	92,029

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間における主な変動は2020年9月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式27,675千株(98,994百万円)を取得したことによるものであります。なお、自己株式の取得価額には、直接取得費用(税効果調整後)を含めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間末の自己株式数は28,089千株、帳簿残高は99,816百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルス感染症の影響については、自動車関連顧客向け等の一部の事業において、顧客の操業度の低下等に伴う物量減少により当連結会計年度の第1四半期にて収益性の低下が発生しておりますが、第2四半期以降に段階的に回復するという仮定については前連結会計年度から重要な変更はありません。なお、不確実性が更に高まった場合には、第4四半期以降において資産又は負債の帳簿価額の見直しを行う可能性はあります。

(SGホールディングス㈱及び佐川急便㈱との戦略的資本業務提携の一部変更等)

当社は、2016年3月にSGホールディングス㈱及び同社の子会社である佐川急便㈱(以下、当社並びにSGホールディングス㈱及び佐川急便㈱を合わせて「両社」という。)との間で資本業務提携契約(以下「本資本業務提携」という。)を締結し、当社は本資本業務提携に基づき同年5月に佐川急便㈱の株式の発行済株式総数比(自己株式除く)20%を取得し、本資本業務提携の成果を踏まえ、両社の経営統合の可能性について協議・検討してきました。

両社は、慎重に協議を重ね検討した結果、日々の協創・協業活動をベースとした事業面のさらなる強化を図りながらも、それぞれ独自に成長戦略を推進することが、企業価値の最大化に寄与するとの結論に達しました。当社は、2020年9月24日開催の取締役会において、SGホールディングス㈱が保有する当社株式の一部を取得するとともに、当社が保有する佐川急便㈱の株式の全てをSGホールディングス㈱に譲渡することとする本資本業務提携の一部変更を決議し、両社間で合意しました。なお、経営統合に向けた協議については、当面の間、検討を見送ることとしました。

本資本業務提携の一部変更により、当社グループは、現在さまざまな協創パートナーと進めているサプライチェーン最適化に向けた取り組みを、特に海外において加速させ、自己株式の機動的な活用を含め、エコシステム(経済圏)を形成・拡大することが可能となります。

なお、本資本業務提携関係の一部変更に伴い佐川急便㈱の株式をSGホールディングス㈱に譲渡することにより、当第3四半期連結累計期間において、その他の収益として関連会社株式売却益4,945百万円を認識しました。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	国内物流	国際物流	計				
売上収益							
外部顧客への売上収益	328,237	169,067	497,304	13,172	510,476	—	510,476
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	—	—	10,195	10,195	△10,195	—
計	328,237	169,067	497,304	23,367	520,671	△10,195	510,476
セグメント利益	19,495	5,389	24,884	1,015	25,899	—	25,899
その他の収益							3,876
その他の費用							△5,338
金融収益							86
金融費用							△205
持分法による投資利益							5,822
受取利息							936
支払利息							△5,225
税引前四半期利益							25,851

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備、旅行代理店業等を含んでおります。

2 親会社の管理部門に係る費用等の事業セグメントに帰属しない全社費用は、合理的な基準に基づき各事業セグメントへ配分しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	国内物流	国際物流	計				
売上収益							
外部顧客への売上収益	312,854	150,664	463,518	10,963	474,481	—	474,481
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	—	—	11,192	11,192	△11,192	—
計	312,854	150,664	463,518	22,155	485,673	△11,192	474,481
セグメント利益	18,554	7,082	25,636	939	26,575	—	26,575
その他の収益							10,100
その他の費用							△4,768
金融収益							74
金融費用							△289
持分法による投資損益							2,926
受取利息							750
支払利息							△4,922
税引前四半期利益							30,446

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備等を含んでおります。

2 親会社の管理部門に係る費用等の事業セグメントに帰属しない全社費用は、合理的な基準に基づき各事業セグメントへ配分しております。